事務事業評価表(平成26年度)

様式	(A) (C ·)					事務事業評価	表(平成2	6年度)							
	事業コード		1138		課コード	1602	会計種別	一般会計			予算の	種類	■政策	■経常	□なし
1.	事業の	既要 (PLAN)													
			①車業々	基本事業 歴史・文	文化遺産活用			実施計画への		· •	-	部部タ	生活员30 +n	· サル・フ+° ··	ソ理
			①事業名		人冠邸の保存と活用	(手賀沼文化拠点)		位置づけ		「		部課名		文化・スポーツ	ノ床
			③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○その	の他(平成 2 5	5年度 ~)	④対象地区 ⑥担当職員数	■我孫子	口天王台	□湖北 5 人	□新木 (換算人数	□布佐	0.46 人)	
(1) 事業概要			⑦事業費	松車業典	一次之				(当 初)	16	5 人	(うち人件費		, 278 千円)	
			(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策 コード	53301	重点プロジェクト への位置づけ								找孫子市社会教育	育推進計画、手
(2) R 45			施策目的・	我孫子市の歴史や文										、周辺の文化ポ	
(3)事業内容		展開方向	的に整備してネット	字をより強化します。 トワーク化を進め、 ⁻	備年	イントと連携させて、多くの人にその価値を感じてもらえるようにする。 我孫子市杉村楚人冠記念館を運営し、杉村楚人冠についての常設展および企画展を実施する。 また、杉村家が所有する英文資料を調査・解読する。									
			計画の事業に位置を	務負担で買収した杉ネ すけ、まちづくり交ℓ							•				
			とともに、杉村家資	市杉村楚人冠記念館」 資料を活用した企画原		,									
		内 容		よう広報宣伝してい		<u> </u>									
									1年間の施設公開日数(年末年始・休日などを除き、最大限に公開で きて300日と換算) 単位				公開で 単位	想定值日	300
(4)達成目標(期待する成果)				(李代·日+	票(期待する成果)		活動結果指標 			標		単位	(5)現況値	(6)目標値	
当該(開始)年度 3年後		施設の魅力を向上	させ、来場者を呼び込		直接	年間入場者数	扫	· 徐		人	2, 228	2.000			
		施設の魅力を向上させ、来場者を呼び込む					直接	人 大明 1 坦 李 粉						3, 500	
最終(概ね5年後)			施設の魅力を向上	直接	年間入場者数				^	n	4, 000				
					かしたイベントを実施し	L — —			I			, v	1, 500		
(7)事業実施上の課題と対応)課題と対応	、より多くの来館 ^を ていく必要がある。		要がある。白樺文学(館、旧村川別荘、鳥の博物館と連携し、来訪 [‡] ・	者に我孫子の魅力を伝え	え 代替案検討	O有	●無					
			The	平成25年度		平成26年度	1			27年度		Th.		8年度	
			政 策 報酬(1号・3	内容 容 平曜 計職員)	金額(千円)	政策 内容 報酬(1号・3号嘱託職員)	金額(千円) 実績	値(千円) 政策	内 容 1号·3号嘱託職	昌)	金額(千円)	策 に パロ	内 容 • 3 号嘱託職員		金額(千円)
			共済費(1号・	3号嘱託職員)	4, 226 738 443	共済費 (1号・3号嘱託職員)	755	共済費	(1号・3号嘱託	職員)	4, 428 755 397	共済費(号・3号嘱託	職員)	755
			賃金(臨時職員	賃金 (臨時職員) 3,05				賃金(a時職員) 2,(賃金 (臨日		!	397 2, 037
			共済費(臨時職 需用費	裁員)	50 1, 852	報償費	33 80	共済費(臨時職員) 報償費			80	33			33 80
		実施内容	後務費 88 委託料 (施設管理) 1,572		需用費 1,610		需用費 役務費		1, 6		無用費 後務費			1, 610 5	
(8) 施行車頂		費用	使用料、賃借料 339 備品購入費 351			委託料 (施設管理) 1,613 使用料、賃借料 351		委託料	(施設管理) ・賃借料	施設管理)		3 委託料(加 資料料・1			1, 613 351
		д т	順品購入費 351			備品購入費 410		備品購.	入費			備品購入到			410 50
					*: 報償費		報償費 光熱水費			240 50				50	
						* 光熱水費(エアコン増設分)	50								
		予算(済)額		合 計 12,715		合 計 12,189			合 計		12, 089		合 計		11, 769
		国庫支出金県支出金	補助率	0 %	0	補助率 0 %	0	補助率	A RI	0 % 0 %	(2,000	補助率	д н	0 % 0 %	0
(9)	│ 財源内訳 │	起債	一	0 %	0	充当率 0%	0	一 補助率 充当率		0 %	C	充当率		0 %	0
一般財源その他の財源		その他の財源	12,715 12,715			□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	11, 539 650	□特会 ■	■受益 □債務 □基	基金 □その他	11, 439 650	〕 □特会 ■受	益 口債務 口基	金 □その他	11, 119 650
(10) 人件費等 換算人数(人) 正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額					0. 46 4, 278		0. 46 4, 278				0. 45 4, 185				0. 45 4, 185
			4, 226 3, 056				4, 226 3, 056				0)			0
		額十正職員人件費)		F0.04.77	16, 993		16, 467				16, 274				15, 954
				56.64千円/日		F1 ^^=	ı	1							
\	(事業費/活	動結果指標)	\	30. 04⊤⊓ ∕ □		54.89千円/日									
	事業の	平価 (DO+CHECK))	30.04TH/ D						Im /==	± 10 · ·	\			
\	事業の				- "	句 評 価	トに大きく音齢)①事前確認での相立		価(評価結果に	応じ、改善案	検討(拡充も含む	ij))		改善検討
\	事業費/活事業の言	平価 (DO+CHECK i項目	・杉村楚人冠は日2 ・楚人冠邸は建物	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治から	り、我孫子には亡くだら昭和にかけての歴!	力 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、 史的・文化的景観を残しているものとして貴!	重である。 C	①①事前確認での想定 ②②事前確認での想定	どおり		応じ、改善案	検討(拡充も含む	5))		
	事業費/記事業の記事業の記録 (1)事業が会	平価 (DO+CHECK)	・杉村楚人冠は日 ・楚人冠邸は建物 ・約6,200点に及ぶ 今後も資料が増加	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治から ・書簡・書籍等の楚人 している。	り、我孫子には亡く; ら昭和にかけての歴 <u>!</u> 冠資料は大正・昭和	力 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴」 日の文化史・政治史など日本の近代史知る重要	重である。 C 受資料。寄贈等で <		どおり どおりでなかった		応じ、改善案材	食討(拡充も含 む	3))		改善検討 〇要 〇不要
	事業費/記事業の記事業の記録 (1)事業が会	平価 (DO+CHECK) 「項目 「必要である理由・	・杉村楚人冠は日2 ・楚人冠邸は建物 ・約6,200点に及ぶ 今後も資料が増加 ・まちづくり交付:	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治から 、書簡・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 、冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用	方 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、 史的・文化的景観を残しているものとして貴 1の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 C 要資料。寄贈等で <	②事前確認での想定想定どおりとした理由	どおり どおりでなかった b/想定どおりでな	いった原因>					O要
	事業費/記事業の記事業の記録 (1)事業が会	平価 (DO+CHECK) 「項目 「必要である理由・	・杉村楚人冠は日・・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治から 、書簡・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した IPO、市民団体等で で市が実施することが	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 一冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 は実施できない	力 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴」 日の文化史・政治史など日本の近代史知る重要	重である。 C	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ③①民間企業、NPO 3②市が主導で進めな	どおりでなかった どおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな	まかった原因> 実施できなかっ? かった				>	O要
2 必 要	事業費/記事業の記事業の記録 (1)事業が会	平価 (DO+CHECK) 「項目 「必要である理由・	・杉村楚人冠は日・・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治から ・書簡・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 一冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 は実施できない	方 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、 史的・文化的景観を残しているものとして貴 1の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 C 資資料。寄贈等で < に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 1①民間企業、NPO 1②市が主導で進めな 1③市が先導役となっ 促進された	どおり どおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普	まかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層				>	O要
2.	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今 背景は?	平価 (DO+CHECK) 項目 必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日: ・楚人冠邸は建物・約6,200点に及ぶ今後も資料が増加・まちづくり交付: ●①民間企業、N(理由) □提供主任□ 一提供主任□ ○2自治体である	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治から ・書籍・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した IPO、市民団体等で で市が実施することが 体が市しかない 6市が推進すべきであ	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 、冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 は実施できない が定められている	方 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、 史的・文化的景観を残しているものとして貴 1の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 C 資料。寄贈等で	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ③①民間企業、NPO 3②市が主導で進めな 3③市が先導役となっ 促進された 1③中の支援が政策・ 1⑤サービス水準が確	どおり どおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	まかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層 に貢献した				>	〇要 〇不要
2 必 要	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が実施 あるか?	平価 (DO+CHECK) 項目 必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日か、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治から 、書簡・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した IPO、市民団体等で で市が実施することが 体が市しかない	り、我孫子には亡く: ら昭和にかけての歴: 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる	対 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉	重である。	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①民間企業、NPO 1②市が主導でとなっ のである。 のである。 で進された 1④市の支援が政策・ 13・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・	どおり どおりでなかった 国/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	まかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層 に貢献した				>	〇要 〇不要
2 必 要	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が実施 あるか?	平価 (DO+CHECK i項目 が必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日 ・楚人冠邸は建物 ・約6,200点に及ぶ 今後も資料が増加 ・まちづくり交付: ●①民間企業、N (理由) □提供主付 □その他	本有数の文化人であり・庭を含め、明治から、書籍・書籍等の楚人している。金を投入して整備したで中が実施することだなが、あいました。	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 、冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定し	対 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉	重である。 C 資資料。寄贈等で < に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①民間企業、NPO ①②市が主導で進めな ①③市が先導役となっ 促進された ②のサービス水準が極い ②のサービスの安定供	どおり どおりでなかった 国/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	まかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層 に貢献した				>	O要 O不要
2 必 要	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が実施 あるか?	平価 (DO+CHECK i項目 が必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治から、 ・産を含め、明治から、 ・書簡・書籍等の楚人 している。 金を投入して整備した で市が実施することが 体が市しかない ら市が推進すべきであり 導で進めることにより に、提供される	り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 、冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定し	対 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉	重である。 C 資資料。寄贈等で < に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 1①民間企業、NPO 1②市が主導で進めなっ 促進された 1④市の支援が政策: 13・サービス水準が確 13・サービスの安定供 10・サービスの安定供 10・サービスの安定供	どおり どおりでなかった 国/想定どおりでな 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普 施策の目標の実現 保された	まかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層 に貢献した				>	O要 O不要
2 必 要	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が実施 あるか?	平価 (DO+CHECK i項目 が必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日本 ・	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治を、 ・書籍等の楚人している。 ・金を投入して整備した。 ・一を投入して整備した。 ・一で市がしてでもいる。 ・でもい。 ・でも、 ・でもい。 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、 ・でも、	り、我孫子には亡く: ら昭和にかけての歴: 記資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 た施設を公開・活用 がは実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定し: 策・施策の目標の	対 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉	重である。 C 資資料。寄贈等で < に に に に に に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た		の具体的な内容			〇要 〇不要
2. 必要性	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が実施 あるか?	平価 (DO+CHECK i項目 が必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	本有数の文化人であり ・庭を含め、明治を心に書簡・書籍等の整人してきる。ま籍等の整人している。 中国ではることを放い、市底ではない、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいました。 では、 でいました。 は、 のの のの のの のの のの のの のの を でいました。 は、 のの のの のの のの のの のの のの を でいました。 は、 のの	り、我孫子には亡く: ら昭和にかけての歴: 記資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 た施設を公開・活用 がは実施できない が定められている り実効性が得られる より、良質で安定し: 策・施策の目標の	方 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 て夫の具体的な内容 「大の具体的な内容 「関語文化拠点整備計画は市民委員とととも	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかったとのではない。 本民団体等では、 市民団体等でははければ実効性がなたことで市民へ 華施策の目標の実現保された	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の	の具体的な内容 参加・協 割期待した以上	・必要性の理由		〇要 〇不要
2 必 要 性 参加·	(事業費/記事業の 事業の 評価 (1)事業が今 背景は? (2)市が実施の (2)市が実施の	平価 (DO+CHECK i項目 が必要である理由・ (事業の必要性)	・杉村楚人冠は日子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭の会のをは、明治を人 ・庭をとか、明治を人 ・となった。といるといる。 ・を投入し、でを嫌した。 ・ではない、では、 ・ではない、できにといる。 ・では、できない。 ・では、できない。 ・では、できない。 ・ででは、でであい。 ・ででは、は、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でであい。 ・ででは、 ・でででででででででで	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	前 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の 〇①当初 〇②当初	の具体的な内容	・必要性の理由		〇要 〇不要 〇不要
2 必 要 性 参加·	(事業費/2 事業の評価 (1)事業が付い。 (2)市が多までは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (3)では、 (4)では、 (5)では、 (5)では、 (6)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (8)では、 (8)では、 (8)では、 (9)では、(9)では、 (9)では、(9)では、(9)では、(9)では (9)では、(9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)でも (9	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は日が ・整人冠の点に及ぶ今後も資料くり変付。 ・約6,200点に増変付・ ・まちづくの点に増変付・ ・まちづくのでは、 ・100点に増変付・ ・まちづくのでは、 ・20点に増えてのでがが一が現がしている。 ・でがが一が現がしているが、 ・でがが一で表がしている。 ・では、 ・でがが一で表がしている。 ・では、 ・でががでいる。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治を人 ・庭を含め、明治を人 ・書籍等の整体した。 ・書籍でいる人して、野体等となった。 ・では、一でではない。 ・では、では、では、では、では、では、では、ででは、ででは、ででは、では、では、で	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	方 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 て夫の具体的な内容 「大の具体的な内容 「関語文化拠点整備計画は市民委員とととも	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施(○①当初 ○②当初 ○③当初	の具体的な内容 参加・協 期待した以上 期待したとおり	・必要性の理由	. CP	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必 要 性 参加·	(事業費/記事業の) 事業の 評価 (1)事業が今? (2)市が多次 (2)市がる事か。 市民の参加・	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治を人 ・庭を含め、明治を人 ・書籍等の整体した。 ・書籍でいる人して、野体等となった。 ・では、一でではない。 ・では、では、では、では、では、では、では、ででは、ででは、ででは、では、では、で	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	方 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 て夫の具体的な内容 「大の具体的な内容 「関語文化拠点整備計画は市民委員とととも	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施(○①当初 ○②当初 ○③当初	の具体的な内容 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	・必要性の理由	. CP	○要 ○不要 ○不要 ○不要
必 要 性	(事業費/2 事業の評価 (1)事業が付い。 (2)市が多までは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (3)では、 (4)では、 (5)では、 (5)では、 (6)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (8)では、 (8)では、 (8)では、 (9)では、(9)では、 (9)では、(9)では、(9)では、(9)では (9)では、(9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)でも (9	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は日が ・整人冠の点に及ぶ今後も資料くり変付。 ・約6,200点に増変付・ ・まちづくの点に増変付・ ・まちづくのでは、 ・100点に増変付・ ・まちづくのでは、 ・20点に増えてのでがが一が現がしている。 ・でがが一が現がしているが、 ・でがが一で表がしている。 ・では、 ・でがが一で表がしている。 ・では、 ・でががでいる。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治を人 ・庭を含め、明治を人 ・書籍等の整体した。 ・書籍でいる人して、野体等となった。 ・では、一でではない。 ・では、では、では、では、では、では、では、では、ででは、ででは、では、では、では	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	方 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 て夫の具体的な内容 「大の具体的な内容 「関語文化拠点整備計画は市民委員とととも	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO 1②市が主導で進める ②3市が先導役となっ 促進された 1③中で支沢水準が政策・ 1③サービスの安定供 1⑦その他 その他の内容〉	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施(○①当初 ○②当初 ○③当初	の具体的な内容 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	・必要性の理由	. CP	→ ○要 ○不要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要
2 必 要 性 参加·	(事業費/2 事業の評価 (1)事業が付い。 (2)市が多までは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (3)では、 (4)では、 (5)では、 (5)では、 (6)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (8)では、 (8)では、 (8)では、 (9)では、(9)では、 (9)では、(9)では、(9)では、(9)では (9)では、(9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)でも (9	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭を含め、明治を人 ・庭を含め、明治を人 ・書籍等の整体した。 ・書籍でいる人して、野体等となった。 ・では、一でではない。 ・では、では、では、では、では、では、では、では、ででは、ででは、では、では、では	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	方 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 て夫の具体的な内容 「大の具体的な内容 「関語文化拠点整備計画は市民委員とととも	重である。 で で で で で で で で で に に に に に に に に に に に に に	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった とどおりでなかった 日/想定どおりでな 、市民団体等では はけたこ 施策の目標の実現 保された 絵基盤が確保され 動の具体的な内容	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施(○①当初 ○②当初 ○③当初	の具体的な内容 参加・協 期期待した以上 期期待したとおり の期待以下	・必要性の理由	. CP	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性参加·協働の工夫	(事業費/2 事業の評価 (1)事業が付い。 (2)市が多までは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (2)市がるのでは、 (3)では、 (4)では、 (5)では、 (5)では、 (6)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (7)では、 (8)では、 (8)では、 (8)では、 (9)では、(9)では、 (9)では、(9)では、(9)では、(9)では (9)では、(9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)では (9)でも (9	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は日か・・ を持入冠は日か・・ を差人忍は埋物・・ を差人忍は点に増攻付・・ を差し資料りりです。 「理由」 □ 日間 □ □ 日間 □ □ 日間 □ □ 日間 □ □ 中事業業理のと地のであるは、一 「中事業業の他」 □ 中事業業・ でのの。 ②③音市民と 世紀の一 「中事・ 「中華・ 「中華・ 「中華・ 「中華・ 「中華・ 「中華・ 「中華・ 「中華	本有数の文化人であり、 ・庭帝・書籍等の整体、 ・産帝・書籍等の整体、 ・産帝・書籍等の整体、 ・産帝・書籍等のを ・ををはる。 ・ではない、 ・ではない、 ・市が進度をはない。 ・市が進度をはない。 ・ではない。 ・ではない。 ・ではない。 ・ででではない。 ・ででではない。 ・ででではない。 ・でででではない。 ・ででででではない。 ・ででではない。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	す 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向、史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった。 市民団体等でははけたことである。 施策の目標の実現保された。 保養基盤が確保され 動の具体的な内容。	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の 〇①当初初 〇②当初初 <期待しか	の具体的な内容 参加・協 期待したとより 関の期待したとおり に以上となったま た以上となったま	・必要性の理由 高働の程度・内容 理由/期待以下	. CP	○要 ○不要 ○不要 ○不要
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費/ 事業の) (1)事業が会 (2)市がる事 (2)市がる事 (2)市がる事 (2)市がるのを) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	平価(DO+CHECK 項目 必要である理由・ (事業の必要性) の必要性は の必要性)	・杉村楚人冠は自物を発生の (理由) 「中国・ (中国・ (中国・ (中国・ (中国・ (中国・ (中国・ (中国・ (本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の入入 市場では、 ・書館にいる人 市場では、 ・実施した。 ・実施した。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	可評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 【夫の具体的な内容 手質沼文化拠点整備計画は市民委員とともものである。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった。 市民団体等でははけたことである。 施策の目標の実現保された。 保きされた。 の具体的な内容には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の 〇①当前 〇②当初 <期待した 〇②想定	の具体的な内容 参加・協 期期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となったま こどおりでなかっ	・必要性の理由 の程度・内容 理由/期待以下	. CP	O要 O不要 O不要 O不要 O不要
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費/ 事業の) (1)事業が会 (2)市がる事 (2)市がる事 (2)市がる事 (2)市がるのを) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	平価 (DO+CHECK) 「項目 ・必要である理由・(事業の必要性) ・の必要性は ・の必要性は ・の必要性) ・や市民との協働を ・おか?	・杉村楚人冠は日か・整人兄は理から、 ・・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の入入 市場では、 ・書館にいる人 市場では、 ・実施した。 ・実施した。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	可評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 【夫の具体的な内容 手質沼文化拠点整備計画は市民委員とともものである。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった。 市民団体等でははけたことである。 施策の目標の実現保された。 保きされた。 の具体的な内容には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の 〇①当前 〇②当初 <期待した 〇②想定	の具体的な内容 参加・協 期待したとより 関の期待したとおり に以上となったま た以上となったま	・必要性の理由 の程度・内容 理由/期待以下	. CP	○要 ○不要 ○不要 ○不要
2 必要性 参加·協働の工夫	(事業費/アンプラック (2) 市がる事業の (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (4) できまる (4) できまる (4) できまる (5) できまる	平価 (DO+CHECK) 「項目 ・必要である理由・(事業の必要性) ・の必要性は ・の必要性は ・の必要性) ・や市民との協働を ・おか?	・杉村楚人冠は自物を発生の でから では できない できない できない できない できない できない できない できない	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の入入 市場では、 ・書館にいる人 市場では、 ・実施した。 ・実施した。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	可評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 【夫の具体的な内容 手質沼文化拠点整備計画は市民委員とともものである。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった。 市民団体等でははけたことである。 施策の目標の実現保された。 保きされた。 の具体的な内容には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の 〇①当前 〇②当初 <期待した 〇②想定	の具体的な内容 参加・協 期期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となったま こどおりでなかっ	・必要性の理由 の程度・内容 理由/期待以下	. CP	○要 ○不要 ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費/アンプラック (2) 市がる事業の (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (4) できまる (4) できまる (4) できまる (5) できまる	平価 (DO+CHECK) 「項目 ・必要である理由・(事業の必要性) ・の必要性は ・の必要性は ・の必要性) ・や市民との協働を ・おか?	・杉村楚人冠は日物 ・杉村登の場には理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の入入 市場では、 ・書館にいる人 市場では、 ・実施した。 ・実施した。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	り、我孫子には亡く、 ら昭和にかけての歴! 「冠資料は大正・昭和 た施設を公開・活用 には実施できない。 が定められている り実効性が得られる より、良質で安定した。 策・施策の目標の	可評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向。 史的・文化的景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 【夫の具体的な内容 手質沼文化拠点整備計画は市民委員とともものである。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が主導で進める (選市が先導でとなっ 促進さまれた ②⑤サービス水変策に (③サービスの安定性) でその他の内容〉 実施した参加・協働が考え	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった。 日/想定どおりでないからでは、 市民団体等ではな音ではないです。 にはというでは、 ないのはたいでは、 ないのはないないでは、 ないのはないないないでは、 ないのはないないないでは、 ないのはないないないないないない。 ないのはないないないないないないないない。 はいのはいないないないないないないないないないないないないないないないないないな	sかった原因> 実施できなかっ; かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実施の 〇①当初初初 〇②3当初 <期待しが ○②想定定 <想定 どる	の具体的な内容 参加・協 期期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となったま こどおりでなかっ	・必要性の理由 の程度・内容 理由/期待以下	. CP	○要 ○不要 ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費/アンプラック (2) 市がる事業の (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (2) 市がる事業 (4) できまる (4) できまる (4) できまる (5) できまる	平価 (DO+CHECK) 「項目 ・必要である理由・(事業の必要性) ・の必要性は ・の必要性は ・の必要性) ・や市民との協働を ・おか?	・杉村楚人冠は日物 ・杉村登の場には理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の入入 市場では、 ・書館にいる人 市場では、 ・実施した。 ・実施した。 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、	り、我孫子には亡く。 いまな子には亡く。 いまではない。 いた施設を公開・活用 た施設を公開・活用 た施設を公開・活用 た施設を公開・活用 では実施できない。 が定められている のる りより、良質で安定し な、施策の目標の	対 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向史的・文化的景観を残しているものとして責計の文化史・政治史など日本の近代史知る重要することは、交付金事業の主旨とも合致する。 〈その他の内容〉 「大の具体的な内容」 「大の具体的な内容」 「大の具体的な内容」 「大の異体的な内容」 「本のである。 「取組む内容」 建物と邸園を活かした整備・活用を行う。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業、NPO ①②市が先導でとといる。 ②③市が先さ調査が改革がでは、13億分一ビスの安定性。 ②⑥サービスの安定性。 ②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。 「②⑥サービスの場合。「③⑥サービスの場合。「③⑥サービスの場合。「③⑥サービスの場合。「〕 「②□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでなかった自/想定どおりでないます。 市民団体等ではな音 でいた	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に責献した た	た <市実施の ○①当当初 ○②当初 <期待しが ○②想定 <想定どが	の具体的な内容 参加・協 期期待した以上 期期待したとおり の期待以下 た以上となったま こどおりでなかっ	・必要性の理由 の程度・内容 理由/期待以下	. CP	○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費の) (1) 事業の (1) 事業 (2) 市がる実 がる (2) 市がる (2) 市 がる (3) 市	平価 (DO+CHECK) 「項目 ・必要である理由・(事業の必要性) ・の必要性は ・の必要性は ・の必要性) ・や市民との協働を ・おか?	・杉村楚人冠は日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の会籍でいる。 ・書簡い入入 市民のではない。 ・事でおいる。 ・実施ないではない。 ・ではないではない。 ・ではなけではない。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもい。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないののの参と連施 ・では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	り、我孫子には亡く。 り、我孫子には亡く。 ら昭和にかけての歴 一〇②現況的 のなとし、 のない。 の。 の。 のない。 の。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 の。 の。 の。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 のない。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	す 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業で進めて進めて、	どおりでなかった自然を はいます では はいます できない できない できない できない できない できない できない できない	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実施の 〇①当初初初 〇②3当初 <期待しか ○②2を記述	の具体的な内容 参加・協 期期待したとしたしたという に以上となった に以上となった にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい	・必要性の理由 高働の程度・内容 理由/期待以下 境への配慮 た	. CP	○ 要 O 要 O O 要
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費の) (1) 事業の (1) 事業 (2) 市がる実 がる (2) 市がる (2) 市 がる (3) 市	平価(DO+CHECK 可目 の必要である理由・ の必要性) の必要性) の必要性) や市民との協働を るか?	・杉村楚人冠は日物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であり、本有数の文化人であり、主音でいた。 はいまない はいまない きにとって はいい きにとる がまい から でない きにとこと りで が 進提(証) という では、政策を から から では、政策を から から から から から から から では、政策を から	り、我孫子には亡だ。 り、我孫子には亡で歴史 り、昭和にかけての昭和 た施資料は大正・活用・ には実施られている。 には実施られている。 は実施られている。 は実施られている。 は実施られている。 はなめられている。 はなめられている。 はなめられている。 はなめられている。 はなりますい。 はなとの較対でなとの較対でなとの較対でなとの較対では、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	前 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業で進めて進めて、	どおりでなかった自然を はいます では はいます できない できない できない できない できない できない できない できない	ぶかった原因> 実施できなかっ かった アンカン (でする) に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実施の 〇①当初初初 〇②3当初 <期待しか ○②2を記述	の具体的な内容 参加・協 期期待したとしたしたという に以上となった に以上となった にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい にはいったい	・必要性の理由 高働の程度・内容 理由/期待以下 境への配慮 た	. CP	○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要 ○ ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 下要 ○ ○ ○ 下要 ○ ○ ○ 下要
2 必要性 参加·協働の工夫 環	(事業費の) (1) 事業の (1) 事業 (2) 市がる実 がる (2) 市がる (2) 市 がる (3) 市	平価(DO+CHECK 可目 の必要である理由・ の必要性) の必要性) の必要性) や市民との協働を るか?	・杉村楚風のはは日本の	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治楚人 ・庭師の会籍でいる。 ・書簡い入入 市民のではない。 ・事でおいる。 ・実施ないではない。 ・ではないではない。 ・ではなけではない。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもい。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないでもにといる。 ・ないののの参と連施 ・では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	り、我孫子には亡だ。 り、我孫子には亡だ。 ら昭和にかけての歴 一般 に記資料は大正・昭和 た施設を公きない。 が定められている。 のののでは、 ののでは、	前 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。 「資料。寄贈等で 「ここでは、	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業で進めて進めて、	どおりでなかった A / 想定どおりでな かった A / 想定どおりでな かった T / 表	はかった原因> 実施できなかった アンカン	た <市実施 (の具体的な内容 参加・協 期期待したとおり たたととおり た以とおりでなった耳 ことがおりでなかった原 なとなった原因〉	・必要性の理由 高働の程度・内容 理由/期待以下 境への配慮 た	字であった原因>	○ 要 O 要 O 不要
2 必要性参加・協働の工夫環境への配慮	(事業費の) (1) 事業の (1) 事業 (2) 市がる実 がる (2) 市がる (2) 市 がる (3) 市	平価(DO+CHECK 可目 の必要である理由・ の必要性) の必要性) の必要性) や市民との協働を るか?	・杉村楚風のはは日本の	本有数の文化人であいる。 本有数の文化、明等の整体、原等の整体、原等の整体、原等の整体、原等の整体で、表面で、内容を開始で、大変にしたでは、大変には、大変には、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	り、我孫子には亡の歴紀 りいて、 りいて、 のでは	す 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の会実現性が乏しい値ではない。 実現性が乏しい値ではない。 実現性が乏しい値ではない。 また 実現性が乏しい値ではない。 また である。 実施予定の対策	重である。 「賞料。寄贈等で 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここ	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業、NPO ③②市が生海でとといるではさまで、20億分ではなって、20億分ではスルをでは、20億分ではスルでは、20億分ではスルでは、20億分での内の内であり、協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を表情(f)(人)	どおりでなかった A / 想定 どおりでな かった A / 想定 どおりでな かった T / 現	よかった原因> 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た	か具体的な内容 参加・ is	・必要性の理由 「動の程度・内容 「関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	字 であった原因> こついて	○ 要 O 要 O 不要
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	(事業 東の) 事 業の (1) 事 背景 は ? (2) 市あの (1) 市あの (1) 目標 (2) 市 (1) 目標 (2) 様 (2) 様 (3) 様 (4) 様 (4) 様 (4) 様 (5)	平価(DO+CHECK 「項目 の必要である理由・ の必要性は の必要性は の必要性) や市民との協働を るか?	・杉村楚小郎は日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	本有数の文化人であいる。 ・庭前の大人であいる。 ・庭前の人の一部の人の一部の人の一部の人の一部の人の一部の人の一部の人の一部の人の一	り、我孫子には亡のに いいまない。 いいまない。 にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのに にはこのでを にはこので にはにいる にはいる にはい にはい にはい にはい	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 「賞料。寄贈等で 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここである。」 「ここ	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業、NPO ③②市が生海でとといるではさまで、20億分ではなって、20億分ではスルをでは、20億分ではスルでは、20億分ではスルでは、20億分での内の内であり、協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を表情(f)(人)	どおりでなかった自然を はいます という はままま (96) (f/b×100)	ぶかった原因> 実施できなかっ? 実施できなかっ? たの力を に 責献 した た (又は今後、 その内容) 「日標標値を達成を く 目標を達成した。 く 目標を達成した。	た	の具体的な内容 参加・協 期期待したいとおり たいととなった 環 どおおりでなかった おりでなかった なとなった 前前の で の ②事前の を の の ②事前の を の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 ・必要性の理由 ・働の程度・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・大きない。 ・大きない。 ・大きないるない。 ・大きないるない。 ・大きないるないるない。 ・大きないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	字 であった原因> こついて	○要 ○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	(事業 東の) 事 業の (1) 事 背景 は ? (2) 市あの (1) 市あの (1) 目標 (2) 市 (1) 目標 (2) 様 (2) 様 (3) 様 (4) 様 (4) 様 (4) 様 (5)	平価(DO+CHECK 可項目 が必要である理由・ が(事業の必要性) がお要性) である必要性は の必要性) でおる必要性は の必要性)	・杉村楚知の点に増交なから、また人間には地域のはに増交ながら、また。 ・ ・ ・ を を は で が が 一 な に に 増交 か ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・ ま ・	本有数の文化人であいる。 本有数の文化、明等の整体、原等の整体、原等の整体、原等の整体、原等の整体で、表面で、内容を開始で、大変にしたでは、大変には、大変には、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変で	り、我孫子には亡の歴史 り、我孫子には亡の歴史 がおれている。 を施いる。 をおいる。 をおった。 は実められている。 のののでは、 はなどのでは、 はなどのでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のののでは、 のの	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 である。 常質料。 寄贈等で で で ある。 で で は で ある 寄贈等で で で は で は で は で は で は で は で は で は で は	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業、NPO ③②市が生海でとといるではさまで、20億分ではなって、20億分ではスルをでは、20億分ではスルでは、20億分ではスルでは、20億分での内の内であり、協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を動した参加・協働が考え を表情(f)(人)	どおりでなかった A / 想定 どおりでな かった A / 想定 どおりでな かった T / 現	ぶかった原因> 実施できなかっ? 実施できなかっ? たの力を に 責献 した た (又は今後、 その内容) 「日標標値を達成を く 目標を達成した。 く 目標を達成した。	た	の具体的な内容 参加・協 期期待したいとおり たいととなった 環 どおおりでなかった おりでなかった なとなった 前前の で の ②事前の を の の ②事前の を の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 「動の程度・内容 「関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	字 であった原因> こついて	○ 要 O 要 O 不要
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	(事業 本の) (1) 事業 (2) 市あの(市 (2) 市あの(市 (4) のの(4) のの(5) では、 (2) 事業 (4) 事業 (4) 事業 費 (5) 事業 費 資	平価(DO+CHECK 可項目 が必要である理由・ が(事業の必要性) がお要性) である必要性は の必要性) でおる必要性は の必要性)	・杉村楚知のはは日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	本有数の文化人であり、 ・庭師の文化、明治を人に、 ・庭師の入入 市場の会書館の大き語では、 ・実施しかでは、 ・実施したでは、 ・実施したでは、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・でででは、 ・でででは、 ・でででででででででで	り、我孫子には亡の昭和 ・	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 である。 常質料。 寄贈等で で で ある。 で で は で ある 寄贈等で で で は で は で は で は で は で は で は で は で は	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業、NPO ③②市が生海でとといる。 ③③市進とでありた。 ②③中の生み水準のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	どおりでなかった A / 想定 どおりでな かった A / 想定 どおりでな かった T / 現	ぶかった原因> 実施できなかっ? 実施できなかっ? たの力を に 責献 した た (又は今後、 その内容) 「日標標値を達成を く 目標を達成した。 く 目標を達成した。	た	の具体的な内容 参加・協 期期待したいとおり たいととなった 環 どおおりでなかった おりでなかった なとなった 前前の で の ②事前の を の の ②事前の を の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 ・必要性の理由 ・働の程度・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・大きない。 ・大きない。 ・大きないるない。 ・大きないるない。 ・大きないるないるない。 ・大きないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	字 であった原因> こついて	○
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	(事業 本の) (1) 事業 (2) 市あの(市 (2) 市あの(市 (4) のの(4) のの(5) では、 (2) 事業 費 (2) 事業 費 資	平価(DO+CHECK 可項目 が必要である理由・ が(事業の必要性) がお要性) である必要性は の必要性) でおる必要性は の必要性)	・杉村楚知のはは日本	本有数の文化人であり、 本・庭師の文化、明治楚人した。 ・書館の大力、市場のでは、 ・書館の入力、市場のでは、 ・一度では、 ・一では、	り、我孫子には亡の昭和 ・	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の景観を残しているものとして貴語の文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 である。 常質料。 寄贈等で で で ある。 で で は で ある 寄贈等で で で は で は で は で は で は で は で は で は で は	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ②①民間企業、NPO ③②市が生海でとといる。 ③③市進とでありた。 ②③中の生み水準のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	どおりでなかった A / 想定 どおりでな かった A / 想定 どおりでな かった T / 現	ぶかった原因> 実施できなかっ? 実施できなかっ? たの力を に 責献 した た (又は今後、 その内容) 「日標標値を達成を く 目標を達成した。 く 目標を達成した。	た	の具体的な内容 参加・協 期期待したとおり たいとと なった 最近 などおりでなかった なとなった 前前の を なとなった の の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 ・必要性の理由 ・働の程度・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・内容 ・大きない。 ・大きない。 ・大きないるない。 ・大きないるない。 ・大きないるないるない。 ・大きないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	字 であった原因> こついて	○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ 要 ○ ○ □ 要 ○ ○ ○ □ 要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	(事業 本) (1) 事業 (2) 市あ(市 (1) 事業 (2) 市あ(市 (1)) 目標 (2) 事い(1) 目標 (2) 事い(1) 目標 (2) 事い(1) 目標 (2) 事い(2) 事い(2) 事が(2) 意定 (2) 事が(2) にいった(3) にいった(4) はいった(4) はいった(5) は	平価(DO+CHECK 可目 の必要である理由・ の必要性は の必要性は の必要性) やおか? して事業を進めて して事業を進めて	・杉村楚小冠は日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であいる。 本有数の文化人であいる。 本・庭師の文化、明等の診差し、金を「書館」で投入して、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では	り、我孫子には亡の歴れ がおれていた。 は、一般では、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、は、は、 は、は、は、 は、は、は、 は、は、は、は、	の 評価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の会主での・文化的景観を残しているものとして貢言 100文化史・政治史など日本の近代史知る重要 することは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。	②事前確認での想定 想定どおりとした理由 ①①民間企業での規定といる。 ②②市が完ま導でといる。 ②③市が発さ支援ス水安安定供 ②③サービスの他の内容〉 実施した参加・協働が考え を動か、協働が考え を動か、協働が考え を動か、協働が表え を動かを対した。 を動か、協働が表え を動か、協働が表え を動か、協働が表え を表した。 を表したた。	どおりでなかった A / 利定 どおりでなかった A / 利定 どおりでなかった A / 利定 どおりでない 市民団体 等ではない 作性 作性 の実現 体	はかった原因> 実施できなかった たのかを 貢献 した た (その内容) (その内容) (できなかった 層 にたまで を できなかった 層 にたまで を できな できな できる (できる) (できる	た <市実施の 「	の具体的な内容 参加・協 期期待したとおり たいとと なった 最近 などおりでなかった なとなった 前前の を なとなった の の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	「事業 の ・事業の評価 (1) 事背 学 (2) 市あの (1) 事 (2) 市あの (1) 目標 で (2) 事い (1) 目標 で (2) 事い (1) 目標 で (2) 事い (3) 目 投資 で (3) 目 投資 で (3) 目 (3) 目 (3) 目 (4) に (4) に (5) に	平価(DO+CHECK 可見 では では では である要性) である要性は の必要性) である要性は の必要性) であか? して事業を進めて して事業を進めて	・杉村楚小冠は日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であいる。 本有数の文化、明等の対差人した。 本・庭簡の文化、明等の対差人した。 書簡い投入 市実にのではないではないでは、一つではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	り、我孫子にはての昭和 ・	す 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の会主での34年間在住し、我孫子の文化の向に 文化の会主 であるとして会主 であることは、交付金事業の主旨とも合致する。	重である。 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	②事前確認での想定 は定 が おりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 はで で の の に で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 日/想定どおりでな 大田定じおりでな 大田に関ウ (本)では 大けたことを 大けたことを 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りである。 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗りのでを 大田に乗り	はかった原因> 実施できなかった たった 層 にた た (又は今谷) 「10日 標標 値値 成 成 事想 事 できている。 (その内容) (10日 標標 を達 事 想 できている。 (できている。) (10日 では、 できている。 でき	た	の具体的な内容 参加上より かル上より たしたは以と下 たいたは以とでなかった原 のののでなかった原 事前前 おおりでなかった原 事が前前 おおりでなかった原	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○
2 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	(事業 東東の) (1) 事業 (2) 市あの (3) 目標 (2) 事い (3) 目標 (2) 事い (3) 目標 (4) 事業 (5) できる。 (6) できる。 (7) できる。 (7) できる。 (8) できる。 (9) できる。 (1) できる。 (1) できる。 (2) 事い。 (3) 目標。 (4) できる。 (5) できる。 (6) できる。 (7) できる。 (8) できる。 (9) できる。 (9) できる。 (1) できる。 (1) できる。 (2) できる。 (3) 目標。 (4) できる。 (5) できる。 (6) できる。 (7) できる。 (7) できる。 (8) できる。 (9) できる。 (平価(DO+CHECK 可見 では では では である要性) である要性は の必要性) である要性は の必要性) であか? して事業を進めて して事業を進めて	・杉村楚小冠は日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化人であいる。 本有数の文化、明等の対差人した。 本・庭簡の文化、明等の対差人した。 書簡い投入 市実にのではないではないでは、一つではないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	り、我孫子にはての昭和 ・	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	②事前確認での想定 は定 が おりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 はで で の の に で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 日/想定どおりでな 大けたことには 大けたこの実 大けたこの実 をされとの実 をなれる場合には をなれるな合には をなれるな合には かなられるな合には ななられるな合には ななられるな合には はたこの実 なならいです。 では、 なならいです。 はないです。 に保めます。 はないではないです。 はないではないです。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	よかった原因> 実施できなかった 所と にできなかった 所と にた にてきなかった できなかった できなかった できなかった できなかる できる。 できなかる。 できなかる。 できなかる。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかる。 できながる。 できながる。 できながる。 できながる。 できながる。 できなが、できない。 できなが、できない。 できなが、できない。 できなが、できない。 で。 できない。 でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	た	の具体的な内容 参加上より かル上より たしたは以と下 たいたは以とでなかった原 のののでなかった原 事前前 おおりでなかった原 事が前前 おおりでなかった原	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性	「事業 の ・事業の評価 (1) 事背 学 (2) 市あの (1) 事 (2) 市あの (1) 目標 で (2) 事い (1) 目標 で (2) 事い (1) 目標 で (2) 事い (3) 目 投資 で (3) 目 投資 で (3) 目 (3) 目 (3) 目 (4) に (4) に (5) に	平価(DO+CHECK 可見 では では では である要性) である要性) である要性は の必要性) であか? して 事業を進めて して 事業を進めて との協働を であか?	・杉村楚小冠は日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本有数の文化、明治を人に、	り、我孫子には亡の歴報 けいている。 はいいる。 はいいる。 はいなになった。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいない。 はいる。 はいない。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はい。 はいる。	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「質料」、 「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「	②事前確認での想定 は定 が おりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 はで で の の に で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 日/想定どおりでな 大けたことには 大けたこの実 大けたこの実 をされとの実 をなれる場合には をなれるな合には をなれるな合には かなられるな合には ななられるな合には ななられるな合には はたこの実 なならいです。 では、 なならいです。 はないです。 に保めます。 はないではないです。 はないではないです。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	よかった原因> 実施できなかった 所と にできなかった 所と にた にてきなかった できなかった できなかった できなかった できなかる できる。 できなかる。 できなかる。 できなかる。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかる。 できながる。 できながる。 できながる。 できながる。 できながる。 できなが、できない。 できなが、できない。 できなが、できない。 できなが、できない。 で。 できない。 でもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	た	の具体的な内容 参加上より かル上より たしたは以と下 たいたは以とでなかった原 のののでなかった原 事前前 おおりでなかった原 事が前前 おおりでなかった原	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	(事業 東京) (1) 事背 (2) 市あの市工(体 間 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	平価(DO+CHECK) 「項目 「項目 「の必要である理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・杉村楚知のはは日本	本有数の文化、明治を 中で	り、我孫子にはての昭和 ・	す 評 価 なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。	②事前確認での想定 は定 が おりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 はで で の の に で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 日/想定どおりでな 大けたことには 大けたこの実 大けたこの実 をされとの実 をなれる場合には をなれるな合には をなれるな合には かなられるな合には ななられるな合には ななられるな合には はたこの実 なならいです。 では、 なならいです。 はないです。 に保めます。 はないではないです。 はないではないです。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	よかった原因> 実施できなかった層 にきなかった層 にた た (又は今後、その内容) 〇①② 標標値値 成 東想事業 できる。 業定事 要事 を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇○○③) を (一〇○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	た	の具体的な内容 参加・協 が以とおり たたと下 でなかった でなかった が なとなった 「 の の の の の の でなかった の の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2 必要性 参加·協働の工夫 環境への配慮 効率性 3	(事業 東の) (1) 事 書 (2) 市あの (1) 目標 (2) 事 (3) 目 投 (2) 事 (3) 目 投 (4) 事 (4) 事 (5) 事 (5) 事 (6) 事 (6) 事 (6) 事 (7) 事 (7) 目 標 (2) 事 (3) 目 投 (4) 事 (4) 事 (5) 事 (5) 事 (6) 事 (6) 事 (6) 事 (7) 事 (7) 事 (7) 目 標 (2) 事 (3) 目 投 (4) 事 (4) 事 (5) 事 (5) 事 (6) 事 (6) 事 (7) 事 (7	平価(DO+CHECK) 「項目 「項目 「の必要である理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・杉村楚知のはは日本	本有数の文化、明治を 中で	り、我孫子にはての昭和 所 り、昭有学 を で い で が で は で が で が で が で が で が で が で が で が	す 評 価なるまでの34年間在住し、我孫子の文化の向に	重である。	②事前確認での想定 は定 が おりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 は定 どおりとした理由 はで で の の に で で で で で で で で で で で で で で で	どおりでなかった 日/想定どおりでな 大けたことには 大けたこの実 大けたこの実 をされとの実 をなれる場合には をなれるな合には をなれるな合には かなられるな合には ななられるな合には ななられるな合には はたこの実 なならいです。 では、 なならいです。 はないです。 に保めます。 はないではないです。 はないではないです。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	よかった原因> 実施できなかった層 にきなかった層 にた た (又は今後、その内容) 〇①② 標標値値 成 東想事業 できる。 業定事 要事 を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇②) を (一〇〇③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇〇○③) を (一〇○○③) を (一〇○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	た	の具体的な内容 参加・協 が以とおり たたと下 でなかった でなかった が なとなった 「 の の の の の の でなかった の の の の の の の の の の の の の	・必要性の理由 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物の程度・内容を表現である。 「動物のでは、大きないった。」 「ありまないった。」 「ありまないった	字 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○